

沖縄観光防災力強化支援事業

事業概要・目的

- 沖縄県は有数の観光地であるが、大規模災害が発生した場合、港湾、空港、道路が復旧するまでの間、観光客が観光地に足止めとなり、観光避難民になることが想定される。
- 観光客の安全と安心を確保するためには、増加する外国人観光客を含む観光避難民への食料、水、毛布、災害用トイレの備蓄及び避難誘導看板の設置等、市町村の防災力強化の取組を推進する必要がある。
- 防災対応を進める市町村に対し、沖縄の観光振興の観点から、観光避難民に対する防災対応を支援することにより、安全・安心な観光地の形成を促進する。

- 令和3年度予算額：9.5億円（令和2年度予算額：9.5億円）
- 事業予定：令和元年度～令和3年度（3年間）
- 事業主体：市町村（広域事務組合含む）

事業イメージ・具体例

地域住民への防災対応を進める市町村に対して、以下の内容について国が直接補助を行う。

補助率 9 / 10

①食料の備蓄等



②多言語避難誘導看板の設置等



【出典】災害種別避難誘導標識システム
(図のみ抜粋)

③外国人観光客に対応するための、既存施設等への防災情報センター機能の付加



定額補助

④避難・備蓄等の計画策定等の①～③の事業を促進する取組

